



学校通信



尼崎市立武庫東中学校

令和7年度 7月号

文責:校長 仁科 良久

『夏は来ぬ ～たくさんのリアルに触れる時間を！～』

人には「自らの見たいものを見て、信じたいものを信じる」という心理的特性があるそうです。

タブレットやスマートホンの普及により、簡単に情報にアクセスできる時代がやってきました。

その際に、よく使用されるものに、インターネットや SNS があります。とても便利ですが、注意を必要とすることもあります。

例えば、インターネットのポータルサイトでは、検索履歴や、検索時の行動を AI が解析し、それぞれに合った情報を提供できるようにするサービスが行われています。その結果、サイトのトップページ等には、その人の好みに合った情報が多く表示されるようになり、自分が欲しい情報に手軽にアクセスできるようになります。しかし、これにより自分とは異なる考えや情報が入り難くなる状態になることがあります。

また、SNS では「フォロー」機能等により、簡単に、同じ考えや意見を持つ人と繋がることができます。そのため、そのグループ内では、より深く、濃密な情報に触れることができ、知的好奇心を大いに満足させることができます。その一方で、あたかも異論が存在しないかのような錯覚を覚え、情報の正誤等が判断しにくくなる状態に陥ることもあります。

このように、インターネットの世界では、自らの世界を広げようとすればするほど、現実的には世界が狭まるという、一見すると矛盾した現象が起こることもあるのです。

そして、今、子どもたちの間では、この弊害が広がりつつあります。

「みんなが言っている」「みんながしてる」という思い込みが、「そうしなければならない」「そう考えることが当然だ」という、「ゆがんだ『現実』」や「いびつな『普通』」を作り出しているケースが増えてきています。

では、どうすればいいのでしょうか。もちろん、このような注意点を認識することが重要です。

次に、「現実(リアル)」に触れることが必要です。ネットの世界だけではなく、多くの人と出会い、多くの体験を積み、多くの考えに触れることが必要です。

現実の世界は、複雑で、不透明で、不確かです。しかし、そのことは、我々に絶え間ない「選択」や「判断」の機会を与えてくれます。そして、人間は長い歴史の中で、成功と失敗を繰り返し、成長と繁栄を続けてきたのです。

今月末からは、夏休みが始まります。たくさんの時間の中で、子どもたちにはできる限りのリアルに触れてほしいと思います。そして、世界の広さを知り、自分の可能性見つけてほしいと願っています。ご支援、ご協力をお願いいたします。



◎7月の主な学校行事◎

2日(水) 全校朝礼

7日(月) 避難訓練

10日(木)～15日(火) 期末懇談

18日(金) 終業式

夏雲の 湧きてさだまる 心あり

中村 汀女